

事業番号	04 12 03	事業改善シート（26年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	医薬品適正使用・環境整備事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	薬事管理課	
総合5か年計画	プロジェクト	6－1 健康で長生きできる地域づくり 6 医薬品等の確保・適正使用の推進			E-mail	yakuii@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開						
				実施期間	H21 ～		

1 事業の概要

目指す姿	・後発医薬品の使用状況等の調査・研究、市場流通している後発医薬品の品質検査を実施し、安全な医薬品の流通確保及び適正使用の更なる推進を目指す。 ・薬局を地域に密着した健康情報拠点として位置づけ、セルフメディケーション等の推進を目指す。	
現状	・後発医薬品に対しては、関係団体や消費者など様々な意見や疑問を持っており、その正確な情報が伝わっていない。 ・現在、薬局は県下に892か所あり、薬剤師も多数常駐しており、数的にも職能的にも身近な健康情報拠点として活用できる条件は整っているが、十分に地域に根差した拠点となっていない状況が伺える。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 平成25年4月に国が定めた「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」において、都道府県レベルにおける取組みが規定されている。
	県民との協働による実施：検討中	

事業内容	① 成果目標（H26）				
	○後発医薬品の数量シェアを平成30年3月末までに60%以上（新指標）とする。				
	② 事業内容（単位：千円）				
	項目	実施方法	H26実施内容	H25 （当初）	H26 （要求） （予算案）
	・ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	・ジェネリック医薬品使用促進連絡会の開催 ・ジェネリック医薬品利用促進セミナーの開催 ・ジェネリック医薬品利用促進のための情報提供	1,581	1,480
	・薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業	直接委託	・健康情報拠点推進協議会の開催 ・セルフメディケーション推進事業の実施	0	6,106
	・医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	・医薬品等企画確認・業者指導用書籍の購入 ・消費者啓発用書籍の購入	0	190
			合計	1,581	7,776 0

事業コスト	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H25末 (見込)	H26			H27 目標
		当初予算	1,926	2,041	1,581	7,776	目標			成果	達成状況		
		補正予算		8,805	5,000			後発医薬品割合（数量ベース・旧指標）	30.6% (H24実績)	31.5% (H25予測)			
		合計(A)	1,926	10,846	6,581	7,776	0	健康支援拠点薬局数	465	増加			
	Aの 財源	国庫支出金	1,833	10,846	6,581	7,586							
		県 債											
		その他(使用料及び手数料)				190							
	一般財源	93	0	0	0	0							
	決 算 額(B)		1,024	8,438									
概 算 人件費	職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60								
	概算人件費(C)	4,955	4,955	4,955	4,955	0							
概算事業費(B(A)+C)		5,979	13,393	11,536	12,731	0							

指摘事項等への対応 □監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善	（指摘事項等）	（対応）
要求からの主な変更点		